

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
BEV+XELOX	21日間	中等度催吐性リスク

薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21		
カペシタビン(ゼローダ)	2000mg/m ²	2×朝・夕食後	●	(Hatched area with arrow from day 2 to 14)													●								
アプレピタント125mg(イメド)	1cp	1×化学療法60～90分前	●																						
アプレピタント80mg(イメド)	1cp	1×朝		●	●																				
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	グラニセトロン3mg デキサメタゾン 3.3mg	1バッグ	メイン	30分	●																				
2	ペバシズマブ 生理食塩液	7.5mg/kg 100mL	メイン	1時間30分※	●																				
3	オキサリプラチン 5%ブドウ糖	130mg/m ² 250mL	メイン	2時間	●																				
4	生理食塩液	50mL	メイン	15分	●																				

※ 初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行ってもよい。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与可能。